

No 103

2023.8
＜令和5年＞

富良野市議会だより

フラノギカイ



富良野市音楽大行進

つくろうよ
いじめの無い学校

提出された主な議案と質疑

令和4年度一般会計補正予算
11億3764万1千円を増額

リサイクルセンター運営管理経費
1595万円

事業内容

固形燃料化施設の破砕機点検ドアが腐食していることが点検で判明し、早急なドアの交換が必要となったため、改修工事を行うものです。

問 腐食が確認されたため早急なドア交換が必要との説明であったが、稼働中及び改修工事中の安全性、施設が停止するなどの問題はないか。

答 点検については、2月に実施し、点検ドアは1年以内の交換が望ましいと診断された。

改修工事はドア部品の納期が5か月と見込まれ、年内の工事完了を目指している。また、施設の稼働に当たっては、毎日目視点検を実施し、稼働停止に至らないよう留意する。

各種負担金（土木総務費）

3千円

事業内容

無電柱化を促進する市区町村長の会に加盟することによる負担金です。

問 この負担金を予算として計上する理由は。

答 この会は、防災性の向上、快適で安全な通行空間の確保を目的に2015年に設立され、本年5月末現在で299の市区町村が加盟している。

本年度、国道237号線と38号線の交差点からフラノマルシェ側まで無電柱化事業が具体的に示され、説明会が旭川開発建設部により行われている。

本市としても緊急輸送道路の確保、大規模停電の発生防止などの視点に加え、国も事業推進を行うことから、この会に参画して活動を行うため、予算計上したものである。

全国市議会議長会表彰

令和5年6月14日に東京都で開かれた全国市議会議長会第99回定期総会において、本市議会より、今利一議員が、市議会副議長として4年間市政の振興に努められた功績に対し表彰され、6月23日の第2回定例会最終日冒頭に、議長から表彰状の伝達を受けました。

また、渋谷正文議員が議員勤続10年以上として定期総会において表彰されています。

6月
定例会

令和5年度の一般会計補正予算、 11億3764万1千円を原案 のとおり可決。

議員改選後初の定例会である第2回定例会が、6月12日から23日までの12日間で開かれ、各議案の審議が行われました。



表彰状伝達後の渋谷議員、今議員

令和5年 第2回 富良野市議会定例会議決結果表

令和5年6月12日～6月23日(12日間)

議案番号	事 件 名	議決月日	議決結果
議案第 1 号	令和5年度富良野市一般会計補正予算(第3号)	6月23日	原案可決
議案第 2 号	富良野市公共交通確保対策事業基金条例の制定について	6月23日	原案可決
議案第 3 号	富良野市文化芸術基本条例の制定について	6月23日	市民福祉委員会付託 継続審査
議案第 4 号	富良野市印鑑条例の一部改正について	6月23日	原案可決
議案第 5 号	富良野市税条例の一部改正について	6月23日	原案可決
議案第 6 号	令和5年度富良野市一般会計補正予算(第4号)	6月23日	原案可決
議案第 7 号	名誉市民推薦審議会委員の委嘱について	6月23日	原案同意
報告第 1 号	富良野市一般会計継続費繰越計算書について	6月12日	報告済
報告第 2 号	富良野市一般会計繰越明許費繰越計算書について	6月12日	報告済
報告第 3 号	富良野市一般会計事故繰越し繰越計算書について	6月12日	報告済
報告第 4 号	富良野市簡易水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	6月12日	報告済
報告第 5 号	富良野市下水道事業会計予算繰越計算書について	6月12日	報告済
意見案第1号	地方財政の充実・強化を求める意見書	6月23日	原案可決
意見案第2号	2023年度北海道最低賃金改正等に関する意見書	6月23日	原案可決
その他会議に 付した事件	監査委員報告		
	・ 例月出納検査結果報告(令和4年度1月分～4月分、令和5年度4月分)	6月12日	報告済5件
	発議 議員の派遣について	6月23日	決定
	閉会中の所管事務調査について(総務文教・市民福祉・経済建設・議会運営)	6月23日	許可4件

閉会中審査及び事務調査申出について

[閉会中の議案審査]

- 次の議案は、市民福祉委員会へ付託し、閉会中審査と議決されました。

議案第3号 富良野市文化芸術基本条例の制定について

[事務調査申出]

- 各委員会では議長の許可を受け、閉会中、次のとおり事務調査を行います。

委員会名	調査番号	調査件名
総務文教委員会	調査第1号	防災行政について
市民福祉委員会	調査第2号	障がい者福祉について
経済建設委員会	調査第3号	森林整備の現状と課題について
議会運営委員会	議運調査第2号	議会改革に向けた取り組み方法の検討について

※ 議運調査第2号は、委員任期中の継続調査となります。

ここが聞きたい！ 一般質問

令和5年第2回定例会において8人の議員が一般質問を行いました。
文責は、質問者にあるものとして、質問・答弁の要旨を掲載しております。
なお、議員顔写真は質問中ではなく、別途撮影した写真です。

質問者が収録されている動画のタイトル、動画上で質問が開始される時間は下記のとおりです。

・富良野市議会 議会中継 (令和5年6月20日)

大西三奈子 議員	00分 44秒 ごろ
宮田 均 議員	1時間 01分 01秒 ごろ
坂口 邦夫 議員	1時間 53分 00秒 ごろ
二宮 利和 議員	2時間 28分 14秒 ごろ

・富良野市議会 議会中継 (令和5年6月21日)

今 利一 議員	00分 22秒 ごろ
橋詰亜咲美 議員	28分 28秒 ごろ
関野 常勝 議員	44分 58秒 ごろ
大栗 民江 議員	1時間 12分 48秒 ごろ



富良野市議会のYouTubeチャンネルでは、議案質疑や一般質問など、本会議のすべてを視聴できます。
左のQRコードを読み込むとサイトに接続できます。

経済発展と子どもの育ち を保障した少子化対策を

大西 三奈子
〔ふらの未来の会〕



人口減少と少子化への対策について

問 本市の人口は令和5年4月末
日で2万人を割り、令和4年度の
出生数は99人となった。この減少
の状況を踏まえ、今後の本市が目
指す対策の方向性を伺う。

答 出生数は減少しているが、全
国の出生率と本市の出生率は、ほ
ぼ同水準の減り幅と捉えている。
目標である出生率1・47と、若者
の流出減少を目指して全庁的に各
種施策を実施していく考え。若い
世代が結婚に向かない原因を探
り、魅力ある職や、安定的に暮ら
せることなど「健幸都市」を掲げ
る本市として、人の健康だけでな
く、まち全体が健康になることで、
若い世代が本市に留まって頂ける
行動変容に繋がっていかれると思っ
ている。

問 人口減少、少子化対策を目的
とした関係人口創出に向けて、親
子ワークショップへの補助や保育
園留学など、本市の関係人口創出
の間口を拡大するためにも部局横
断的に、その施策について協議す
べきと考えるが見解は。

答 場面に応じて庁内で連携しな
がら協議を進めてきている状況に
ある。親子ワークショップについ
ては様々な取り組みの一つとして
考え、引き続き検討していく。

問 「富良野ならではの子育て環
境づくり」を子育て中の市民とと
もに実現するため、子育て環境を
考える共創のワークショップを開
催する考えと、時期について伺う。

答 関係する市民が子育て環境づ
くりを主体的に考え、ともに創り
上げるため、ワークショップの手
法を含めた意見交換の場づくりを
進めていく。次期子ども子育て支
援事業計画の策定に向けて、令和
6年度に実施を考えている。



子育てや教育環境の充実を目指して

宿泊税（観光振興税）の早期導入への考えは

宮田 均
〔無会派〕

宿泊税の早期導入について

問 宿泊税導入に向けた進捗状況と今後のタイムスケジュールは。

答 宿泊事業者と観光関係団体で組織する「観光振興財源検討有識者会議」より法定外目的税である「宿泊税」が、観光振興財源として有効であるとの提言を受けた。コロナ禍による地域経済への打撃を考え、議論を見合わせていたが、今後、観光客の入込みも期待できることから、令和8年度の導入を目指し議論を進めていく。

想定される収入額としては1人・泊2000円の税率で、年間65万泊で試算した場合、年間1億3千万円を見込んでいく。

問 宿泊税の使途について、具体的な検討や決定はされているか。

答 市と地元関係団体で構成する協議会を立ち上げ検討するよう有識者会議から提言を受けたが、今後は「ふらの観光まちづくり戦略会議」での議論や観光事業者との意見交換などにより、宿泊税の使途について検討を進めていく。

旭川空港へのLCC（格安航空）参入・誘致について

問 旭川空港への、LCC（格安



旭川空港へLCCの参入・誘致を

航空）の参入は、若年層など新規交流人口の増加や地域観光に対し有効と考える。誘致に向けた取り組みと現状は。

答 LCCは現在、新千歳空港から国内各地に就航しており、旭川空港への就航は、低価格で利用しやすく、新たな客層の獲得につながる可能性があることから、今後の誘致は、旭川空港利用拡大期成会や、あさひかわ観光誘致宣伝協議会などと連携し取り組んでいく。

△その他の質問▽
・移住定住促進について



激化する鳥獣害被害対策対応の強化を

坂口 邦夫
〔富良野クラブ〕

富良野市における鳥獣害対策について

問 今後の対策と検討内容は。

答 今後の対策については、効果的・効果的な捕獲方法の研究老朽化する鹿柵の修繕・更新、電気牧柵設置の補助や猟銃の所持に対する補助の見直し、捕獲交付金の見直しなどが考えられるので、有効な取り組みを検討していく。

問 狩猟免許取得補助事業で新規取得者の推移と現状は。

答 令和2年度1人、令和3年度なし、助成額を増額した令和4年度は1人であり、今年度の新規取得希望者の現状については、現在3件の問合せがある。

問 国や北海道に対しての要請も含めた広域的対策の見解は。

答 自治体、関係機関・団体などで構成されている「上川地域野生鳥獣対策連絡協議会」において、広域的な野生鳥獣の適正な保護・管理、農林業被害防止と人身・交通事故防止などの情報や認識の共有、その方策について協議をしている。今後も、協議会を通じて、国や北海道に対し、広域的な対策の検討や補助事業等の予算確保を要請するとともに、沿線での協議

の場の設置を検討していく。

問 コミュニティカーの運用について
答 山部地区コミュニティカーの利便性向上について伺う。

答 本年3月に策定した「富良野市地域公共交通計画」では、地域の既存モビリティの利便性向上に向け、現状の課題を踏まえ、計画期間中、関係者協議の実施や運行内容の拡大検討、実証運行の実施・検証等について検討していく。

△その他の質問▽
・JR根室線富良野―新得間の廃止に伴う対応について



鹿の食害のようす



公共交通網の整備と今後の方向性について

二宮 利和
〔ふらの未来の会〕

富良野市における地域公共交通の目指すべき方向性について

問 本市では富良野市地域公共交通通計画を定めて公共交通の整備をしているが、現在、市民の公共交通離れの要因と、感じている不便さへの見解、また、これからの公共交通のあり方について伺う。

答 公共交通離れの大きな要因は、運行頻度などの不便さもあり、自家用車での移動が定着していると認識している。今後は、地域にあった施策や交通資源を使い、車を持たない状況になっても、移動が可能となるよう、まちづくりと連動して交通体系の構築を図りたい。

問 本市における様々な交通予算を組み合わせ、利便性の高い新しい交通網を整備する可能性を伺う。

答 車両や運転業務を担う人材の有効活用などを考慮しながら、今後、関係機関との意見交換を重ね、実現の可能性について探ってみる。

問 AIオンデマンド交通の2回目の実証運行の内容は。

答 市街中心部と学田・北の峰町の人口密集地を対象地域として停留所を約50か所設定し、予約制により実証運行を行う。

運行期間は、本年11月から来年

1月までを無料、2月から3月までを有料で行う。

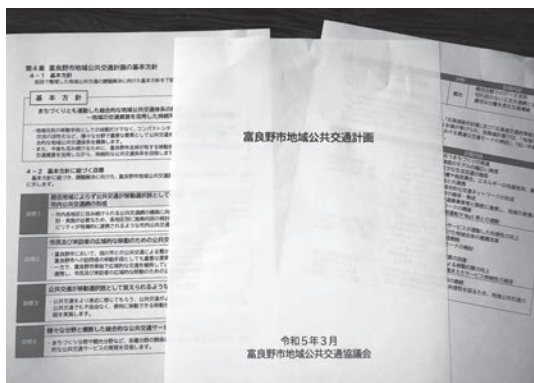
問 前回の実験で、使い方がわかりにくいと声があつたが、対策は。

答 前回の課題も踏まえて、広報などでの周知や、地域ごとに説明会などを開き、利用しやすい配慮をしていく。

高齢者の外出支援サービス助成の拡充について

問 タクシーチケットについて助成の拡充の要望があるが考えは。

答 次年度に向け利用状況などを精査して検討していく。



富良野市地域公共交通計画

農産物に対しての鳥獣害対策について伺う

今 利一
〔市民連合議員会〕

鳥獣害対策について

問 鳥獣が農地に侵入して作物への被害が多発している。被害の実態と対策について伺う。

答 鳥獣による被害は年々増加傾向にある。令和4年J Aふらのの調査では、被害面積734・4ヘクタール、被害額は1億4778万円となっている。対策は、市内全域を囲む全長250kmにも及ぶ鹿柵の設置、中山間地域等直接支払交付金を活用した電気牧柵の設置や鹿柵の補修への補助、有害鳥獣対策実施隊による捕獲、ハンターの確保を目的とした狩猟免許取得への補助を行っている。

問 民家の減少、鹿等の移動距離を考えると単独自治体では到底対応が追いつかない。沿線での対策協議会を作り対策すべきと考える。

答 現在、上川管内の自治体や関係機関・団体などで構成されている「上川地域野生鳥獣対策連絡協議会」において広域的な野生鳥獣の適正な保護・管理・農林業被害防止、人身・交通事故防止などについて協議、必要に応じて沿線での協議の場を設けたい。

問 富良野市公式ホームページに「ヒグマ出没情報」が出ている。

答 これまで公式ホームページへの掲載により行ってきた。今年度より安全安心メール、公式LINEを新たに加え、出没情報を発信している。またヒグマが出没した際は、関係部署で情報を共有し、各部署を通じて出没箇所の近隣の学校、保育所、自治組織等への連絡を行っている。

今後も、情報発信を継続しながら、多くの市民が情報を入手できるように、SNSでの発信に努める。

より多くの市民を対象に情報を発信し、注意喚起を促すべきと考えが見解を伺う。

〔市民連合議員会〕

今 利一

〔市民連合議員会〕

〔市民連合議員会〕



東部に設置されている鹿柵フェンス

まなびの環境の充実と 支援強化を

橋詰 亜咲美
〔市民連合議員会〕

特別な支援を必要とする子どもたちへのサポート体制について

問 現在、市内には中学生向けの通級指導教室が設置されていないが、今後において設置する考えは。

答 本市においても困り感を抱える児童生徒の比率は年々増加している状況であり、現在は扇山小学校に「ことばとまなびの教室」として設置している。中学校での設置については、全国的にも小学校に比べ圧倒的に少ない状況であり、要因としては「集団での適応が進み、本人・保護者のニーズそのものがなくなる。」などが挙げられる。通級指導についてのニーズや課題を整理するとともに、他自治体の事例を参考に、研究していく。

問 通級指導教室を利用、または利用していた保護者に対し、中学生向け通級指導教室の必要性についてアンケート調査を行う考えは。

答 令和5年度内に、現在通級指導を利用している小学3年生から6年生の保護者を対象にアンケート調査を実施したい。

問 特別支援教育支援員の配置について、令和4年度の特別支援教育支援員の配置は小学校21名で、中学校4名であった。中学校にお

いて支援員の増員が必要であると考えが見解を伺う。

答 令和5年度は小学校に22名、中学校に5名配置している。支援員の配置については、各学校の特別支援学級及び通常学級において生活支援が必要な児童生徒の在籍数をもとに調整を行っている。

中学校においては生徒の成長に伴い、自立した活動能力が高まる状況を把握しながら配置しているところであり、今後必要にに応じた配置に努める。



ことばとまなびの教室看板

山部太陽の里を観光の 拠点に

関野 常勝
〔富良野クラブ〕

太陽の里の観光振興について

問 山部太陽の里を中心とした観光振興に対する見解、考え方は。

答 過去に山部地域観光振興計画に基づき取り組みをしてきた。現在は太陽の里に特化した計画はないが、「ふらのビジョン2030」における5つの戦略を実現するための場所として位置づけている。

問 キャンプ場でワークショップが行われていたが、得られた課題への今後の取り組みは。

答 共創の取り組みの中で、手づくりならではの美観が維持されるように、お色直しの際に地域の方が参加し、風化させない手法について、指定管理者、地域団体と検討していく。

問 オートキャンプ場を設置することにより、誘客が拡大すると考えるが、見解は。

答 今後の利用者ニーズの把握、生活様式の変化に合わせた対応が必要であり、地域が望む方向性、将来を見据えた体制や施設整備の検討が必要と考える。

問 高齢者施設などでの人材確保について

介護人材に特化した新たな修

学支援制度創設に向けた見解は。

答 現在、「育英基金」「介護人材育成事業助成金」を活用していることから、新たな修学支援制度の創設は考えていない。

問 市外から市内の高齢者施設等に就職された方への支援金などの補助を実施する考えは。

答 現在策定中の「第9期富良野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に係る各種施策において、市内介護事業所の意向調査を実施し、支援金などの補助を含め、人材確保につながる対策を検討していく。



山部太陽の里キャンプ場

带状疱疹ワクチン接種 費用の助成を

大栗 民江
〔無党派〕

任意接種の带状疱疹ワクチン接種について

問 带状疱疹は、80歳までに3人に1人が罹患するとされ、带状疱疹後神経痛という後遺症を防ぐためにもワクチンによる予防が大切と考える。ワクチンは2種類あり、高齢者への情報提供には工夫が必要であるが、市の考えを伺う。

答 带状疱疹は高齢者で発症リスクが高く、50歳以上の方はワクチンを接種することにより、発症率の低減や重症化予防に効果があるとされている。带状疱疹に関する市民への周知については、広報紙やホームページ等を活用し、症状や特徴、ワクチンの種類、接種方法等、より詳細な情報を提供していく。

問 コロナ禍等による多くのストレスを抱える中で、带状疱疹の患者も増えてくると推測する。このため市民の健康を守る観点から带状疱疹ワクチン接種費用の助成が必要と考えるが、公費負担についての見解を伺う。

答 带状疱疹ワクチン接種は任意接種であり、本市では費用助成を行っていない。現在、国の審議会において、検証が進められており、

定期予防接種の公費助成については、国の審議会の検討状況を見極めた上で、対応を検討していく。

ふるさと納税の取り組みについて
問 ふるさと納税が市でどのような事業に活用されているのか関心を寄せる声を聴くが、返礼品や使途について今後の考えを伺う。

答 まちづくりの財源をはじめ、雇用創出や地域活性化、地域の様々な魅力のPRにもなる取り組みに活用し、返礼品は、地場産品に加え、体験型を設定する等、開発に引き続き取り組んでいく。



主な合併症の带状疱疹後神経痛 (PHN)

出典 (グラクソ・スミスクライン株式会社、「带状疱疹予防.jp」)

可決された意見書(抜粋)

地方財政の充実・強化を求める意見書

地方公共団体は、急激な少子・高齢化に伴い、医療・介護など社会保障制度の整備、子育て施策の充実、人口減少下における地域活性化対策、デジタル化、脱炭素化、物価高騰対策など、多岐にわたる役割が求められている。

しかし、現実に地域公共サービスを担う人材は不足しており、疲弊する職場実態にある中、新型コロナウイルス対策や多発する大規模災害への対応も迫られている。

これらに対応する地方財政について、政府は骨太方針2021において、2021年度の地方一般財源の水準を2024年度まで確保するとしているが、それをもつて増大する行政需要に十分対応し得るのか、大きな不安が残されている。

このため、2024年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立を求める意見書。

2023年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

最低賃金の引き上げは、ワーキングプア解消のための「セーフティネット」の一つとして最も重要なものである。

道内で働く者の暮らしは依然として厳しく、年収200万円以下の労働者は、道内でも46・7万人と、給与所得者の24・3%に達している。

また、道内の全労働者216万人の内、45万人超の労働者が最低賃金近傍に張り付いている実態にある。

労働基準法では、労働条件の決定は労使が対等な立場で行うと定められているが、多くの非正規労働者は労働条件決定にほとんど関与することができない。

経済財政運営と改革の基本方針において、早期に全国加重平均が1000円になることを目指すことが堅持され、前年度の北海道地方最低賃金審議会答申書においても、同様の内容を表記した。

よって、2023年度の北海道最低賃金の改正に当たり、基本方針の尊重を求める意見書。

議会日誌 ～令和5年5月から令和5年7月の議会関係の開催状況をお知らせします～

5月

1日・改選後議員任期開始
12日・第2回臨時会告示
19日・第2回臨時会
25日・北海道市議会議長会
道北支部議長会
30日・北海道市議会議長会
第86回定期総会
31日・代表者会議

6月

2日・広域連合議会第2回臨時会告示
5日・第2回定例会告示
7日・議会運営委員会
9日・広域連合議会第2回臨時会
12日・第2回定例会（1日目）
・総務文教委員会
・市民福祉委員会

・経済建設委員会
・議会広報特別委員会
13日～14日
・全国市議会議長会第99回定期総会
20日・第2回定例会（2日目）
21日・第2回定例会（3日目）
・議会運営委員会
・議会広報特別委員会
23日・第2回定例会（4日目）
・議員協議会
26日・経済建設委員会
30日・富良野沿線市町村議会議長会総会

7月

3日・市民福祉委員会
4日・議会運営委員会
5日・議会広報特別委員会

11日・市民福祉委員会
12日・総務文教委員会
13日・全国市議会議長会
第177回社会文教委員会
18日・市民福祉委員会
・経済建設委員会
24日・総務文教委員会
25日・議会広報特別委員会



議会広報特別委員会のようす

次回定例会（令和5年9月）のご案内

次回定例会の開催予定です。開会は通常10時となっています。

日	月	火	水	木	金	土
8/27	28	29	30	31	9/1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
		本会議				
17	18	19	20	21	22	23
		予備日	一般質問	一般質問		
24	25	26	27	28	29	30
		本会議				

議会日程は変更になる場合があります。

議会を 見る聴く

インターネット中継

本会議や一般質問はインターネット中継を行っています。

[富良野市議会インターネット中継](#) [検索](#)
[インターネット生中継・録画中継](#)

ラジオ放送

一般質問の質疑を編集したものをラジオふらので放送しています。放送日程については議会ホームページなどをご確認下さい。

議会を 読む知る

議会広報紙

定例会ごとに、議会広報紙を発行し全戸配布しています。ホームページからもご覧になります。

議会ホームページ

議会ホームページでは、本会議や諸会議の開催案内や会議録などを掲載しています。ぜひご覧ください。

編集後記

▼新型コロナウイルス感染症は、本年5月8日から「5類感染症」になり個人の選択を尊重する対応に変わりました。富良野市内も観光客で賑わい、各種イベントが再開して、皆様の生活に活気が戻ってきていることと思います。しかし感染症が収束しない状況下においては、医療や福祉施設等に従事する方々や、重症化リスクの高い方々には気持ちの休まることのない日々を過ごされているものと思ひ、両立の難しさを感じています。

▼4月の選挙により富良野市議会も新たな任期が始まり、議会広報特別委員会も初当選された3名を含む7名でスタートしました。委員会では市民にとって身近な市議会となるよう広報誌の充実等を進めていくことを確認しました。

▼時代の変化が加速度的に進む昨今ですが、本市ののんびりとした雰囲気や美しい風景、そして人々の温かさは訪れた方々を魅了するものだと思います。過去の経験や知識を生かしながらも、新たな視点や感性を開拓する気持ちで委員会の取組みを進めていきたいと考えています。

（委員長 大西 三奈子）

発行責任者

議長 渋谷 正文

議会広報特別委員会

委員長 大西三奈子
副委員長 松下寿美枝
委員 大栗 民江
〃 関野 常勝
〃 坂口 邦夫
〃 二宮 利和
〃 橋詰亜咲美



議会の 中から こんにちは

～広報特別委員会の活動を紹介します～



5月から新しいメンバーになりました。新人議員の3人も所属しています。



タブレットも活用しています。読みやすい紙面になるよう意見を出し合います。



大体定例会ごとに発行しています。完成するまでに3～4回委員会を開きます。



今年のへそ祭りには友好都市である兵庫県西脇市の議員団の皆さんが来られました。議員団の中には、西脇市議会広報委員会の委員長、副委員長もいらっしゃったので、「議会広報」を作るにあたり工夫している点や気をつけている点などについて意見交換しました。様々な視点を取り入れ、より読みやすい「フラノギカイ」となるようブラッシュアップしていきます。

「ヒアリンググループマーク」

「ヒアリンググループマーク」は、補聴器や人工内耳に内蔵されている磁気誘導コイルを使って利用できる施設・機器であることを表示するマークです。

このマークを施設、機器に掲示することで、補助援助システムがあることを知らせ、利用を促すものです。

ヒアリンググループは新庁舎になってから導入されました。議場内に設けたアンテナにより、周りの雑音などに邪魔されずに目的の音声を正確に聞き取ることが可能になりました。



貸し出し用の受信機

傍聴席
Public Gallery

補聴器・人工内耳を
お使いの方へ



ヒアリンググループマーク
【ヒアリンググループ補聴器システム】
この場所には、補聴器・人工内耳を使用
されている方に音声ははっきり聞こえる
環境が整えられています。
お使いの補聴器・人工内耳をTモード
（Tコイル）に切り替えてください。

市議会では受信機を5台用意しています。

傍聴の際に利用したい方は議会事務局までご相談ください。

議|会|用|語|は

むずかしい？
わからない？



広報誌などで度々登場する議会用語をちょっと解りやすく紹介いたします。

閉会中事務調査について解説します！

- 委員会が所管する事項について、議会の許可を得て議会の閉会中に調査を行うことです。
- 本市議会においては、総務文教委員会、市民福祉委員会、経済建設委員会、議会運営委員会で調査を行っています。
- 調査の結果は、次の定例会で報告します。